

第29回 全国街路事業コンクール

特別賞

表彰事業名：都市計画道路 新町通り線 街路事業

表彰対象者：石川県 奥能登土木総合事務所

事業概要

本事業は、能登半島に位置する能登町の宇出津地区において、市街地の空洞化に歯止めをかけ、本来の賑わい再生と地域の活性化を図ることを目的とし、中心商店街である、都市計画道路新町通り線を活性化軸と位置付け、約8mの道路幅員を15mに拡幅するとともに、無電柱化を行い、安全安心な歩行空間の確保、良好なまちなみ景観の創出を図った。

なお、事業延長306mのうち、平成21年度にI期区間172mを完成させ、平成27年度にはII期区間134mを完成させた。また、県の街路整備にあわせて、町では沿道において商店街の賑わい拠点となる広場の整備や、案内サインの整備、地元では沿道建物の修景ルールを定めた「彌榮（いやさか）協定」を策定するなど、県・町・地元が三位一体となり、中心商店街の賑わいの再生と活性化に取り組んだ。

- 事業延長：306m
- 幅員：15m(車道3.0m×2、停車帯1.5m×2、歩道3.0m×2)
- 事業費：4,148百万円
- 事業期間：平成10年度～平成27年度

表彰理由

事業前は歩道が無く、歩行者の安全確保等が課題となっていたが、道路拡幅や無電柱化により安全安心な歩行空間が確保されたことや、停車帯の整備により、円滑な交通が確保されたことが評価された。

また街路整備にあわせ、地元が策定した沿道建物の修景ルールに基づき、統一された街並みが形成されたことも評価された。



整備前

